

平成 28年度 高松市事務事業評価表 (事中・事後評価)

事務事業名	(企業会計) 椋川ダム整備事業		
部 局 名	上下水道局	課(室)名	浄水課
		電話番号	087-839-2751

【事業全体概要】まちづくりの目標：人と環境にやさしい安全で住みよいまち

総合計画	政策	水を大切にすまちづくり		主体	県	
	施策	安全で安定した水道水の供給		期間	平成 20年度～平成 27年度	
	基本事業	安定給水の確保		総事業費	1,652,574	
重点取組項目	重点取組課題 4			特定財源	国	507,298
関連根拠法令等	水道法				県	385,647
事業区分	その他	種別	事中・事後	市債		
事業種類	単独			他	757,305	
				一般	2,324	

事業の概要  
本市の自己処理水源の確保を図るため、香川県と共同施行にて多目的ダムである椋川ダムを建設し、利水負担分を支払うものである。

【事業の目的と指標】

対象	椋川ダム	対象指標名	整備対象ダム施設数
手段	治水・利水・湧水対策機能を持つ多目的ダムである椋川ダム建設事業(香川県との共同施行)に対し、利水分の負担金を支出する。	活動指標名	負担額支出件数
意図	新たな水源を確保し、平常時は基より湧水時においても、安定給水を図る。	成果指標名	ダム本体整備率
結果	安全で安定した水道水の供給が可能となる。	効率指標名	経費1千万当たりの負担額支出件数

【指標値および事業費の推移】

指標名	単位	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	目標値	目標年度
対象指標	基	1	1	1	1	
活動指標	件	1	1	1	1	
成果指標	%	25.7	32.3	38.8	42.4	
効率指標	件 / 1	0.027	0.023	0.027	0.018	
トータルコスト	[千円]	369,795	435,488	372,678		
(事業費)	[千円]	369,012	434,700	371,910		
(職員人件費)	[千円]	783	788	768		

【環境変化等】

開始時周辺環境(背景)	現状周辺環境	今後周辺環境(予測)	住民意向分析
平成 6 年に代表される異常湧水が頻りに発生し、市民生活や経済活動に多大な影響が生じるとともに農作物にも甚大な被害が発生した。	椋川ダムの再検証を受けて、平成 24 年 2 月 13 日に国(国土交通省)の補助金交付に係る対応方針が決定された。	国(国土交通省)において、ダム建設工事への補助金交付決定が出されたことから、平成 26 年度に本體工事に着手し、32 年度に完成する予定である。	頻りに発生する異常湧水から、新規水源確保のためのダム建設には理解が得られている。

【妥当性評価】

1. 事業の実施主体として市の関与は妥当か A 法令等により市が実施しなければならない 香川県が事業主体（香川県と高松市の共同施工）
2. 事業の上位目標である施策に貢献しているか A 貢献度が大きい 高松市総合計画、高松市上下水道基本計画にも明記されている。
3. 成果を上げるため、またコストを削減するため、対象あるいは意図（目指す状態）を拡充・縮小する必要があるか A 必要性はない 高松市上下水道事業経営懇談会により、渇水につよい街づくりの一環として、安定給水の確保の推進が提言されている。
4. 事業を廃止・休止した場合に影響があるか A 影響は大きい 市長マニフェストに、「自己水源の確保を図り、渇水への備えを万全に行います。」と明記されており、椋川建設事業を推進することとなっている。
5. 市民協働の実施状況はどうか（どのような市民参画・市民活動との連携等を実施したか） A 事業のプランづくりの段階からNPO、市民団体が参加している 事業実施に当たり、地元関係者で組織する「香東川水系ダム建設促進期成会」と連携を図っている。

【有効性評価】

6. 事業の成果（成果指標値）を向上させる余地はあるか A 向上余地はない 香川県と共同施工であり、平成16、17、22、25年度に再評価を実施しているため、向上の余地はない。
7. 事業執行上の見直しを行ったか（昨年度何か業務の見直しを行ったか） A 実施済み/実施する必要がなかった 香川県公共事業評価委員会（再評価）に諮り、「事業を継続」は妥当と判断された。
8. 成果目標値に対する実績値（達成度）はどうだったか C 概ね達成できた H27年度ダム整備事業の実績値は、成果目標値の90%であり概ね達成できている。

【効率性評価】

9. 成果を達成するための活動量（活動目標値に対する実績値）はどうだったか D あまり達成できなかった 経費1千万当たりの負担額支出件数の実績値は、活動目標に対して39%となり、あまり達成できていない。
10. コスト縮減ができたか B 縮減できた 香川県において、建設事業費のコスト縮減を進めている。

【一次評価】

評価区分	継続																							
平成26年10月から本体工事に着手しており、一刻も早い完成が望まれる。																								
改革案																								
内容	期待効果																							
ダム本体が完成し、試験湛水を行った後にダムからの取水が可能になるが、試験湛水中に渇水になった場合は、取水が可能になるように県と協議を行い、一刻も早い渇水時の安定給水を図る。	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
阻害要因																								

【二次評価】

評価区分	継続
ダム開発による新規自己処理水源の確保は、お客さまへの安定給水に欠かせないものであるため、事業を継続する。	